

令和7年度【2025年度】

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0784
施設名	なごみ保育園
施設所在地	東京都町田市原町田5-1-5
法人名	社会福祉法人七五三会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「光と影」

<テーマの設定理由>

乳幼児共に、遊んでいる時に自分の影に興味を持っている姿がある。日常生活の中でも、太陽光が反射してできた虹や光の動きに気づく等、光と影に興味を持つ場面が多く見られる。子ども同士や大人と関わり合い、試したり考えたりすることで「探求心・創造力」を育みたい。

2. 活動スケジュール

- ① 2025年 7月29日（火） ～光であそぼう～（4歳児）
- ② 2025年 9月日（ ） ～光の反射に興味を持つ～（4歳児）
- ③ 2025年 11月日（ ） ～色々な影を作ろう～（4歳児）
- ④ 2025年 12月日（ ） ～ブラックライトを楽しむ～

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

（活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具）

・ミニプレイバルーン・懐中電灯(電池)・マグビルド・クリスタルカーニバル・アクリル積み木
・カラフル積み木アクリルシート ・カラーセロハン・クリアカラーブロック・油性ペン
・卵パック バルーンを膨らませて個室空間を作った。バルーンの中や外から光をあてられるよう
広い場所で行った。

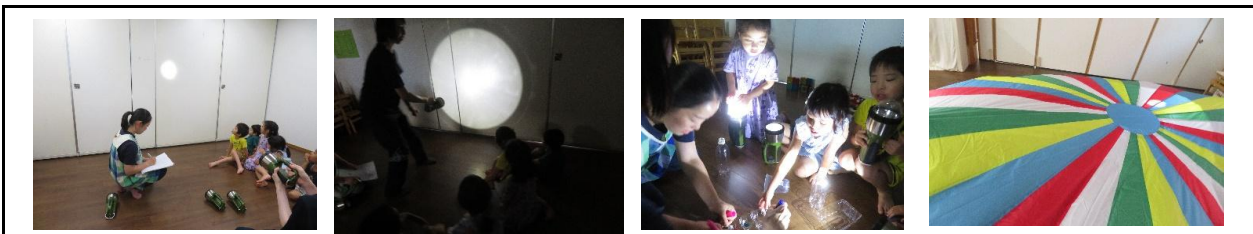
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

5名の子ども達と明暗を感じられる個室空間をつくり、懐中電灯を使って光をあててみることで光と影を自由に楽しんだ。身近な素材（卵パック・ペットボトル等）、カラーセロファンや、カラフル積み木、ブロックなど様々な素材を使い、光を通して色や明るさの存在に気づき変化を楽しむ。パラバルーンを膨らませ、外と中から光を当てて気づきや疑問を持ち、感じたことを伝え合う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

光ってなに？と投げかけると、「ライト・太陽・電気・コイン・火」など身近な光が子ども達からあがった。子ども達からあがったライトを使い、明るい状態と暗い状態で光を照らしてみると暗い方が、「光が大きく見える」「壁に近づくとき小さくなった」などの気づきがあった。身近な素材では、卵パックを照らすと波のようにならねって見えることやマジックで色を付けると光を通すことに気づき声が挙がった。ヨーグルトの容器を光らせると、「看板みたい。」と感じる子もいた。パラバルーンは光を当てるとどうなるのかという問いかけでは、周りの子にも協力を仰ぎパラバルーンの中と外から光を当ててみた。中で光らせると、「全部が明るくなった。」外から光を当てると「当て場所の布の色に光った。」と感想が上がり、光を追いかける事を楽しむなど、光への興味に繋がっていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・光の話を出した時に、炎という言葉が挙がったのが以外だった。子ども達にとっては宝石などキラキラしたものも光の分類に入っているようだった。

・前回のテーマ「音」よりも気づきや探求心が強く見られていた。子ども達は視覚から入った方が

ワクワク感があり、気づきや疑問に繋がりが易いのだと感じた。